



山口市家庭教育支援チームとは



山口市家庭教育支援チームは、すべての保護者の方が自信をもって子育てができるよう、家庭教育に関する講座や保護者同士の語らいの場づくり、個別相談を行っている文部科学省登録の家庭教育を応援するグループです。

家庭教育を応援する取組について

山口市家庭教育応援サイト

『親も子も一歩ずつ』に詳しくご案内しております。  家庭教育応援サイト

個別相談 オンライン 対応可

聞いてほしい子育てや家庭教育に関わるお話を伺い、一緒に考えます。また、専門の相談窓口の紹介も行っています。



個別相談申込
メールフォーム

訪問支援ダイヤル

083-928-3232 katei-support@city.yamaguchi.lg.jp

家庭教育講座

市内各地域で家庭教育講座「子そだてマナビィ」を年10回程度実施しています。また、PTA活動等で、ご希望に沿った講座を行っています。



家庭教育講座
子そだてマナビィ

保護者カフェ

子育てや家庭教育に関する保護者同士の語らいの場を学校内や地域で行っています。お気軽にお立ち寄りください。



【お問い合わせ】

山口市家庭教育支援チーム(山口市教育委員会社会教育課内)
☎083-934-2865 E-mail katei-support@city.yamaguchi.lg.jp

お子様がもうすぐ小学校入学をむかえる保護者の方へ

親も子も一歩ずつ

～ともに成長する家庭であるために～



思い通りにいかないことが多い家庭教育。変化の激しい時代の中、「自分が子どもだった時…」という記憶や経験だけでは、お子様が「自立」するまで、ともに歩み続けることの難しさを感じることもあるかもしれません。昔から子育ての先輩・保護者同士の語らいを通して、親は子育てのスキルアップを図ってきました。

山口市家庭教育支援チームは、話を聞いてほしい時の「個別相談」・保護者の学びの機会「家庭教育講座」・保護者同士の語らいの場「保護者カフェ」を実施し、就学前から中学卒業までの保護者の方の家庭教育を応援しています。



山口市家庭教育支援チーム

親も子も一歩ずつ ～ともに成長する家庭であるために～

家庭教育でめざすことは、「子どもの自立」。お子様が、社会でよりよく生き抜く力を身につけるための家庭教育のお話

「自立」とは、他者と頼り頼られながら生きる力。そのために、礼儀やマナー、他者を思いやる心、自分のおもいを伝える力、我慢する力などを身に付けられるよう、一歩ずつ親子で歩んでほしい。



どんなに忙しくても、子どもが何歳になっても、わずかな時間でもいいから、お子様を抱きしめること、手をつなぐこと、肌をあわせることを忘れないでください。

山口市家庭教育アドバイザー

お子様が「自立」した大人になるために、今大切にしたいこと

～本当の「やさしさ」と「厳しさ」～

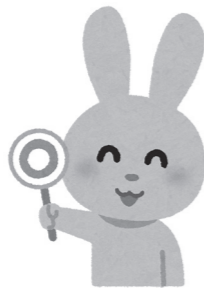
家庭では、主に親子のかかわりの中で、子どもは育っていきます。いつも心掛けてほしいことは、やさしく、厳しい子育て。そして、できるかぎり、やめてほしいことは、冷たく、甘い子育て。

～まず、傾聴。そして、ともに考える親子関係づくりを～

子どもが話す様々な出来事。時には泣いて帰ってくることも。そのときの親の態度が、子どもの自立に大きな影響を与えます。まずは、子どもの話に耳を傾け、子どもが伝えたいことを受け止めてください。そして、子どもと一緒に考えてください。

やさしさ = 温もりを感じる態度

- たとえば…
- ・子どもの気持ちに共感する
 - ・子どもを信頼する
 - ・困っているときに一緒に考える
 - ・子どもが喜んでいることをともに喜ぶ



厳しさ = 「自立」のための毅然とした態度

- たとえば…
- ・社会や家庭のルール、モラルに反する行動をしかる
 - ・子どもができるようになるまで待つ
 - ・決めたことを続けられるよう促し続ける妥協しない関わり

冷たさ = 温もりのない態度

- たとえば…
- ・子どもが話しかけても聞かない
 - ・子どものSOSを見過ごす
 - ・子どもの喜びに寄り添わない



甘さ = 「自立」に反する言動をゆるす態度

- たとえば…
- ・社会や家庭のルール、モラルに反する行動を見過ごす
 - ・子どもが一人でできることでも手助けをする

○子どもが伝えたいことは何？

マイナスな気持ちや体調の変化等の訴え

- 【例】
- ・習い事をやめたい。
 - ・給食が食べられなかった。
 - ・（学校に行く前に）頭・おなか痛。
 - ・学校に行きたくない。

友だちや先生との関わりや言動について

- 【例】
- ・鉄棒で逆上がりができたよ。
 - ・先生に叱られた。
 - ・友だちが遊んでくれなかった。
 - ・クラスの代表に立候補したのに選ばれなかった。



気持ちを分かってもらいたい。
共感してほしい。
助けてほしい。
自分に目を向けてほしい。

